

第50回運営小委員会 議事録

1. 開催日時：令和5年3月16日（木） 10:00～12:40
2. 開催場所：三菱重工株式会社 横浜ビル 33階 3306会議室
3. 出席者：渡邊（東北大学）、山下（東京大学）、高木・山本（東芝 ESS）、宮澤（東京電力 HD）、前田（三菱重工）、伊藤（日立）、長瀬（日立 GE）、河村・藤原（電中研）、大橋（オルガノ）、端（JAEA）、杉野（日本原電）
【敬称略、順不同】

4. 議事

(1) 前回議事録の確認

前回運営小委員会議事録について了承された。

(2) 2023・2024年度選挙結果について

杉野委員より、資料に基づき水化学部会選挙結果の報告があり、77名の投票があり、候補者全員が当選したことが報告された。

(3) 第22回全体会議資料について

杉野委員より、資料に基づき全体会議の資料について説明があり、以下の点を修正の上、全体会議に諮ることとなった。

- ・「リモート化推進 WG」の名称を「リモート化活用 WG」とする。
- ・企画担当の活動予定に関し、次回 AWC2024 は「詳細未定」との記載を「主催：インド、オンライン開催」とする。
- ・2023年度予算原案に関し、2022年度期首の繰越金が記載されているため、2022年度決算終了後の繰越金の見込み額を記載する。

(4) 次回以降の定例研究会について

山本委員（定例研究会 WG 担当）より、資料に基づき次回以降の定例研究会の開催方法、開催頻度および基調テーマ案について説明がなされ、開催方法は当面 Web 形式とし、開催頻度を現在の年3回から年2回とするとの提案に対し以下の意見があり、頻度やテーマについてはWGで継続して検討することとなった。

- ・頻度については活動を縮小すべきではなく、「最大で年3回」とし、AWC・NPC やサマーセミナーなどの行事がある年はそれらを1回とカウントするのはどうか。
- ・頻度ありきではなく、WG が中心となってテーマ案を選定し、そのボリュームに応じて回数を定めることにしてはどうか。

(5) 2023 年春の年会企画セッションの結果について

渡邊部会長より、2023 年春の年会企画セッションの結果についての紹介があり、内容のバランスも良く、活発な質疑がなされたことなどが報告された。

(6) 次回以降の企画セッションについて

山本委員（企画担当）より資料に基づいて次回以降の企画セッションについての説明があり、次回は 2024 年春の年会での実施を目指し、テーマとしてプラント 60 年超運転に向けた材料部会等との合同セッション、または水化学標準についての標準委員会との合同セッションとの案が出され、これに対し以下の意見があった。

- ・水化学標準については 2022 年春の年会企画セッションで実施したため、2023 年は見送るのがよい。
- ・プラント高経年化に向けて水化学で貢献できる項目はあるのか。WG で検討し提案すること。

(7) 2022 年度部会報の内容案について

大橋委員（広報担当）より、資料に基づき部会報の内容案について説明があり、追加事項として、AWC2022 の雑感について杉野委員が執筆することとなった。

(8) AWC2022 の予算超過手続きについて

伊藤委員（財務担当）より、資料に基づき AWC2022 の予算超過手続きについて説明があり、総務財務委員会、理事会での審議の結果承認されたことが報告された。

(9) 2022 年度会計報告、2023 年度予算案について

伊藤委員（財務担当）より、資料に基づき 2022 年度会計に関する説明がなされ、水化学ハンドブックの売上金が収入に大きく貢献したことなどが報告された。また 2023 年度予算案が提案され、予算案については提案の通り承認された。

(10) 2023 年水化学サマーセミナーについて

長瀬委員（サマーセミナーWG 担当）より、資料に基づき水化学サマーセミナー2023 の開催案について説明があり、講演者・パネルディスカッション出演者がほぼ決まったとの報告があった。また会場費の削減等により、50 名の参加で収支が成り立つとの説明があった。また参加申し込みフォームに関する説明がなされ、「サマーセミナー」、「夏期セミナー」と混在している箇所があるため、「サマーセミナー」に統一することとした。

(11) 水化学部会賞（奨励賞）の審査結果について

端委員（選考委員）より、2022年度奨励賞の選考結果について説明があり、三菱重工の垣谷氏に奨励賞を授与することが可決された。

(12) 2023年春の年会講演賞選考員について

端委員（選考委員）より、2023年春の年会の選考委員について説明があり、2023年春の年会での部会賞候補について応募が無かったことから、審査は行わないことが報告された。

(13) 福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動研究専門委員会について

高木副部長より、資料に基づき活動状況について説明がなされ、第四期の延長手続きが承認され、通算8年の活動となることなどが報告された。

(14) 各WGの見直しについて

杉野委員より、資料に基づき各WGの活動状況、委員変更案について紹介があり、WG主査については今後互選により決定することとし、各WGで決定することとなった。また「定例研究会WG」については、定例研究会だけでなく企画セッションの企画・検討も行っていることから、適切な呼び名に変更することとした。またAWC2022WGは終了、水化学ハンドブック改訂WGは休止することが可決された。

(15) 水化学部会賞細則の改定について

杉野委員より、資料に基づき水化学部会賞（講演賞）の受賞資格の明確化案について提案があり、提案の通り可決された。

その他

次回の運営小委員会は6月15日AMに開催することで決定された。

以 上